

品名	フッ素	国連番号	1045
----	-----	------	------

**該当法規・危険有害性**

消 防 法						毒物及び劇物取締法			高压ガス保安法		火薬類取締法			道 路 法		
種 別						指 定 可 燃 物	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 圧 ガ ス	液 化 石 油 ガ ス	火 薬	爆 薬	火 工 品	施 行 令 第 1 9 条 の 1 2、1 3 に 該 当
第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類											
特 性	危 険 性			有 害 性						環 境 汚 染 性		性 状				
	禁水性	爆発性	可燃性	有 害 ガ ス 発 生			目・皮膚に触 れると危険	河 川 へ の 流 入 注 意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性				
				常 温	加 熱 時 火 災 時	水 に 接 触										

**事故発生時の応急措置**

車を安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。)

事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。

気呼吸器(又は防毒マスクおよび保護眼鏡)保護手袋を着用し、漏洩防止・回収作業を行う。

**緊急通報**

119(消防署)                      110(警察署)                      高速道路の非常電話

[ 緊急通報例 ]

いつ                                      時                      分頃

どこで                                      市 地区(国、県、市)道                      号線                      付近で

なにが                                      「フッ素」が

どうした                                      漏れています。

ケガ人は                                      ケガ人がいます(救急車をお願いします)。ケガ人はいません。

私の名前は                                      運送会社                                      です。

**緊急連絡**

(特に、休日・夜間に確実に連絡がとれる部署の電話番号を記入する)

荷主会社		運送会社	
住 所		住 所	
電 話	平日 昼間 休日 夜間	電 話	平日 昼間 休日 夜間

品名	フッ素	国連番号	1045
災害拡大防止措置			
特記事項		処理剤	消石灰、ソーダライム
<p>常温でも強い可燃性を示すため火気から遠ざける。</p> <p>水と激しく反応して有毒なフッ化水素やオゾンを生成する。</p> <p>眼に入った場合、粘膜に強い刺激性を持ち、失明になることがある。</p> <p>吸入した場合、鼻、呼吸器系粘膜に強い刺激性を持ち、肺水腫になることがある。</p> <p>皮膚に付着した場合、強い刺激性を持ち、炎症を起こすことがある。</p> <p>圧縮ガス（沸点 - 188）、比重 1.31（空気 = 1）、黄緑色、生臭い臭気。</p>			
<p><b>漏えいしたとき</b></p> <p>保護具を着用し、風上で作業する。</p> <p>容器弁口金から漏洩している場合は、容器弁ハンドル及び口金キャップを増締めする。</p> <p>漏洩が防げない場合には、ガス状の漏洩ならば漏洩部に濡れタオル等を当て、散水しガスを吸収させる。液状の漏洩ならば消石灰を囲って拡散を防ぐとともに、散水しながら漏洩の収まるのを待つ。排水は消石灰等で完全に中和する。</p>			
<p><b>周辺火災のとき</b></p> <p>強い可燃性のため、極力、可燃物及び火災から遠ざける。</p> <p>容器の移動が可能であれば、保護具を着用して、速やかに安全な場所に移動させる。</p> <p>移動が困難な場合は、容器及び周囲に散水し、容器の破裂を防止する。</p>			
<p><b>引火、発火したとき</b></p> <p>不燃性ガスである。</p>			
<p><b>救急措置</b></p> <p>眼に入った場合、直ちに清浄な流水で15分以上緩やかに洗う。</p> <p>皮膚に付着した場合、直ちに汚染された衣服を脱がせ、大量の水で洗浄する。</p> <p>吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移し、衣服を緩め毛布等にくるんで保温し、安静にさせる。できれば、酸素吸入を行う。意識を失っている場合は人工呼吸を併用する。</p> <p>上記の応急処置後、速やかに医師の診断を受ける。</p>			